

Yonago East Weekly



【数は力なり、継続も力なり、親睦は結束を生み、結束は大いなる力なり】

- 創立／1968年4月24日 ● 事務所／米子市西福原1-1-55 スマイルホテル米子 Tel.(0859)32-5531
- 例会日／水曜日12:30～13:30 ● 例会場／ANAクラウンプラザホテル米子
米子市久米町53-2 Tel.(0859)36-1111
- 会長／伊藤慎哉 ● 幹事／林 俊一 ● 会報／牧田継夫

出席報告

会員数：110名
出席数：71名 欠席数 32名
出席免除会員 7名：荒川(雄)君 杉原(弘)君
新納君 宮本(守)君 高橋(孝)君 小谷君 植田君
出席率 70.64%

メイクアップ

7/27-28 会員2名 (IA地区大会：岡山)
8/19 会員8名 (親睦委員会)

《幹事報告》

- (1)本日ガバナー補佐来訪
- (2)本日例会後、ガバナー補佐クラブ協議会
- (3)10/6地区大会 ご案内中
多くの皆様のご参加をお願いします

8/28プログラム

納涼夜間例会 19：00～三井別館 2階

スマイルBOX 39,000 円 (373,000 円)

本人誕生日祝：野島君 高田君
創立記念日祝：高田君
主夫人誕生日祝：面谷君 木山君 岡君
結婚記念日祝：木山君
ホーム出席100%祝：面谷君
出席100%祝：桶村君
リーダー就任：西澤君
リーダー退任：面谷君 桶村君
※国頭ガバナー補佐 本日はよろしくお願ひします。
※面谷君 7/17 コロナの状況について
8/14 「氷食症」を知っていますか
BSSテレポート山陰に出演しました

(順不同)



【会長挨拶】



本日は2690地区第2グループの国頭芳夫ガバナー補佐をお迎えしております。

そして卓話ですけれど、MAOインターナショナルの深見駿介様

岡田茂吉美術文化財団・山田昌士様、鳥取県教育支援協議会・田中弘之様をお願いしております。

そして後ほど国頭芳夫ガバナー補佐様にはクラブ協議会にも参加いただきます。5ロータリーの会長同士、副会長のときから仲が良くして会長グループラインというのを作っておまして、チーム国頭の名でいろんな情報を受け渡しています。もちろん幹事同士のライングループもあるように聞いております。

もう一つ、ガザ地区で25年ぶりに伝染型ワクチン由来ポリオウイルス2型が出たそうです。今まで1型のポリオウイルスが2024年6月時点ではパキスタンで5例、アフガニスタンで6例だったのですが、今回、紛争地区のガザでワクチン由来のポリオウイルス2型が見つかりました。既に撲滅宣言をした型ですが、それが25年ぶりに出たということです。ユニセフではワクチンをガザ地区で一生懸命やらなければいけないというところなんです。昨年度から始まりましたポリオプラスソサエティというのがございます。これは毎年100ドルをロータリー財団のポリオプラス基金に寄付する約束をするというもので、現時点で米子東ロータリークラブでは10名程度ポリオプラスに参加されており、ポリオプラスではこのバッチがもらえるそうです。経済的に非常に難しいところですが是非参加をお願いします。



THE MAGIC OF ROTARY

国際ロータリー2690地区
 ガバナー補佐 国頭 芳夫 氏 (米子中央RC) 来訪
 (中井啓介 幹事 (米子中央RC) 同行)



例会後、クラブ協議会 開催



<本日のプログラム>

「MOA美術館児童作品展が児童とその家庭に及ぼす影響について」
 MOA美術館児童作品展 実行委員長 面谷 博紀 会員



事務局長 深見 駿介 氏
 事務局次長 山田 昌士 氏
 事務局員 田中 弘之 氏

事務局員 深見 駿介 氏
 事務局員 山田 昌士 氏
 事務局員 田中 弘之 氏



「MOA美術館児童作品展が児童とその家庭に及ぼす影響について」

(実行委員長の面谷から、はじめに簡単にご挨拶させていただきます)

今年で35回目を迎えるMOA美術館全国児童作品展は、子供たちが自然・環境、社会、他者との関わりを通して興味や関心を持ったことを、感性を働かせながら絵画や書写によって表現することで情操を養い、豊かな心を育てることを目的に開催しています。令和4年度はコロナ禍にもかかわらず、海外11カ国を含む292会場で開催し、応募総数約18万7000点、参加校数5581校となり、わが国最大規模かつ国際的な児童作品展へと発展してきています。

鳥取県西部における本展開催は今年で33回目を迎えますが、昨年度は絵画、書、あわせて1071点の応募があり、秋には米子しんまち天満屋におきまして表彰式を行いました。最優秀作品であるMOA美術館奨励賞2点につきましては、静岡県熱海市にあるMOA美術館で行われる全国展に出品されました。MOA美術館は太平洋が一望できる山の中腹にありまして、尾形光琳の「紅白梅図屏風」など国宝3点を保有する、大変美しい立派な美術館です。

作品展を開催するにあたりまして、文部科学省をはじめ、鳥取県ならびに西部の各市町村、その教育委員会など多数の団体からご後援をいただき、また200社を超える地元の企業からご協賛をいただいていることで作品展が成り立っています。当クラブにおいても、すでに多くの方々に毎回ご協賛いただいております。また河上定弘会員には副実行委員長をしていただいているという関わりがあります。作品展の趣旨にご賛同いただけるようでしたら、更なるご支援をいただけますと大変喜ぶところです。

